

第2章 はんだ付けに必要な道具の選択

佐藤 四郎

● はんだごての選択…製作物に合ったW数を使う

はんだごての出力は用途によって使い分けます。どう工夫しても100Wのはんだごてで面実装部品を付けることなどできません。

蛇の目基板のランドに抵抗やICソケットを付けるなら、20W程度が使いやすいでしょう(写真1)。

ちょっと大きな部品や大きなランドがある場合は、20W程度では熱を奪われてしまうので、30Wを使います。

シールド板やコネクタのはんだ付けには、40～60Wぐらいを準備しておくとういでしょう。

面実装部品用には15～20Wクラスの先の細いものを使います。

熱容量以外にはんだごてを選定する目安として、

愛用のAntex (Electronics) 社のG型(18 W)

表面実装部品の実装に
便利なごて先の細いタイプ
(DASH N453, 白光)

熱容量の大きい太目の線材や
コネクタのはんだ付けなどに
使うごて先の太いタイプ(30
～60 W)



写真1
はんだごての熱容量は用途に合わせて選ぼう